

ネロハ

幼い子はネロハをとでもこわがっていました。お化けか人さらいかと思っていました。このネロハを追ひ払う魔除まよけとして庭先に桑の葉を摘むときに使った籬さお(みけご)を竿さおの先にかぶせて立てておきました。

むかしの嫁は、家族と共に夜なべをさせられました。あの所のお嫁さんの親が娘の身を案じて、嫁入り先きの家の近くまで出かけて行き「ネロハ、ネロハ」とかなしそうな、あわれそうな声を出して十二月八日の夜、嫁ぎ先の家の回りをひそかに歩き回ったそうです。この気味の悪い声をきいた嫁ぎ先の親は恐しくなって夜なべをやめさせたということです。こうして十二月八日の夜にはお嫁さんを早く寝かせる様になりました。

ネロハとは「寝ろノハア」もう早く寝なさいという意味の言葉ではないでしょうか。

